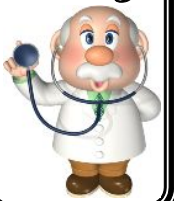




発行元
東京新聞
南千住東口専売所
TEL5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

おもちゃを元気にする

荒川おもちゃ病院



「子供の喜ぶ顔が嬉しい」

荒川おもちゃ病院は、荒川区社会福祉協議会の3階で、毎週水曜の10時から14時半まで開院しています。

全国各地におもちゃ病院はありますが、毎週開院しているところは少なく、足立区や文京区、千葉など、離れた地域からも壊れたおもちゃの修理依頼が、年間300件近くきます。

診察料は一つ200円。ネジやハンダ等の材料費に充てます。

「パズルを解く様な面白さです」

60〜80歳代の方達8名が、壊れたおもちゃを修理するボランティア・トイ・ドクターです。中には練馬区・川口市・三鷹から通って来られる方もおります。

持ち込まれるおもちゃは様々です。持ち主のおじいちゃんやおばあちゃんが遊んでいたブリキのおもちゃや、テレビゲーム機・おもちゃの携帯電話、100円ショップのおもちゃなど部品も症状も様々です。

壊れたおもちゃが必ず直るとは限りません。IC回路が付いているおもちゃは、IC回路が壊れていると直りません。

モーターで動くおもちゃは、モーターが動力になっており、1.5ボルト以上の電圧が

ないと力強く回転しません。電池の電圧が低下して、1.2ボルト以下になると、モーターはほとんど力をなくします。音がでるおもちゃでは、電池の電圧が低下と共にモーターの回転が低下するため、音がビリビリという音になりましたり、低いゆっくりした音になります。また、経済的とおもちゃに利用される事の多い充電式単一・単二・単三電池ですが、充電池自体の電圧が1.2ボルトである為、実はモーターを動力としているおもちゃがやると動く電圧なのです。

ゼンマイ式のおもちゃが壊れたら・例えば、チョロQが後ろに引いても走らない、少ししか走らない、走り方が弱い。原因はゼンマイ切れ、ギアの磨耗、ゴミや異物の詰まり、さび付き等です。ゼンマイ式のおもちゃを長持ちさせるには、ゼンマイを目いっぱい巻かないようにして下さい。チョロQなどおもちゃを後ろに目一杯引かないようにし、車輪や車軸に絡みついてゴミや異物を見つけたら取り省いてください。



着せ替え人形(リカちゃん、バービー、ジェニーなど)手足が取れた、外れた、目の動きが鈍い、目がうごかない 手足が取れた、外れた、目の動きが鈍い、目が動かない。是非、トイ・ドクターに相談しましょう。

子供達の大好きな、良く遊ぶおもちゃほど、壊れます。おもちゃがどんな動きをしていたのか、どんな音がするのか教えてください。ベテランのトイ・ドクターが壊れたおもちゃを元気にしてくれますよ。壊れたおもちゃの

付属品一式外れるなどした部品(ネジ・折れたカケラ等)、箱、説明書もあつたら一緒に持ってきてください。

おもちゃが手軽な価格で手に入る時代になり、壊れるとすぐに捨て、新しいおもちゃを買い与えると言う傾向があります。

しかし、これらも貴重な資源です。直るおもちゃは修理をして長く遊んでいただきましょう。

いらなくなつたおもちゃがありましたら、おもちゃ病院へお持ち下さい。ネジや歯車などの部品が他のおもちゃの再生に繋がります。そして、子供たちのモノを大切にすることに繋がります。

筆者が荒川おもちゃ病院を訪れた時、それぞれのトイ・ドクターが黙々と試行錯誤しながら、おもちゃを直しておられました。眠っているおもちゃがありましたら、荒川おもちゃ病院へ。かつて大切に遊んでいたおもちゃが再び、カタコトと動き出すかもしれません。

◇荒川おもちゃの病院◇

荒川区南千住1-13-20 (荒川区社会福祉協議会内)

毎週水曜日 10:30~14:30 (年末年始・祭日除く)



すまいるたうんふれあい亭

10月3日(日) 瑞光ひろば館
10月10日(日) 区民事務所西部ひろば館
12時半〜3時まで
会費100円 生演奏で歌いましょう。